

地区とのタウンミーティング 議事概要

日 時	令和6年12月13日（金）午後6時00分～午後7時00分
地 区	妙見坂地区
場 所	妙見坂自治会館
参加人数	13人

テーマ1 妙見坂小学校グラウンドのさらなる開放について

主 旨

- 妙見坂地区の子供達のために遊び場の確保をしてほしい。中央公園があるがパナソニック(株)が将来団地を閉鎖するに伴い、今後どうなるかもわからない状況。また、中央公園周辺からは苦情もある中、地域で取組んでいる。様々な背景から妙見坂小学校グラウンドのフリースペースの拡充(土日も含めた曜日・時間帯、中学生の利用)を望む。

市 長

- フリースペースに関して、市内小学校に週5回開催する予算はついている。実際週5回開催されている小学校もある。結果、見守りしていただける方の存在次第である。見守りの方がいる事で成立する事業である。見守りの確保にはシルバーハウスセンターにも依頼するが、なかなか人が集まらない。土日に関しては、学校開放でスポーツ団体の利用などの兼ね合いがあるため、市としては、平日利用の拡充を図ることができればと思うが、地域の方々の協力が絶対に必要となる。

意 見

- 現在の利用では、家に帰って親の同意書をその都度持っていく必要があるなど、いろいろと課題がある。各地区の公園は自由に遊べるが、学校は管理者がいないと利用できないなど、線引きがわからないので、市としても検討いただきたい。また、学校単位での異なる運用ではなく、市全体の小学校が同じルールで運用できないのか。校長に委ねて色々と決まってしまうのはおかしいと思う。

→[市長]市立小中学校の最終的な管理者は市長であるが、校長がいて、教育委員会がある中、市長が中々意見できない。法的にも原則学校、教育委員会の判断になる。フリースペース事業に関しては、学校によっては過去の経緯もあって帰らなくともそのまま遊んでいる所もある。市(教育委員会)で同じ運用にするのが難しいことを理解いただきたい。昔は好きに遊んで帰ってという時代であったが、今では校内で何らかの事故等が起これば、学校と教育委員会の管理責任が問われるため、家に帰ってから同意書を持って参加するという運用にせざるを得ない。

- 校長によって違いがあるので、地域としては、相談や話し合いができる場を市が設定してほしいと思っている。

→[市長]市長を通じて学校、教育委員会に言うのではなく、フリースペースの予算措置は市であるが、詳細部分は地域、保護者と学校、教育委員会との話し合いが必要になる。

テーマ天の川緑地公園のボール遊び場について

主旨

- 天野川緑地公園でボール遊びができるように市の方で計画していると聞くが、今後どのような動きになるのか。

市長

- 天の川緑地は大阪府の所有だが、過去から市との協議で緑地として使用している部分である。現在、踏切北側の整備を検討している。現在は、藤が尾地区のグラウンドゴルフに貸出しをしている状況であり、利用にあたっては協議が必要になる。現時点における市の考えは、線路側に15mほどの防球フェンスを、天野川側にも4mほどのフェンスを設置して、範囲としてはカインズまでの抜け道となっているところまでをボールで遊べる広場として整備したい。担当課には、来年度から設計着手をするように指示している。

意見

- この広さの公園を整備しようとすると費用もかかり、すぐには整備できないということだが、今年度中に自分たちで気をつけてボール遊びができるようにできないか。
- [市長]公共工事となると、どうしても設計に1年、工事に1年というスケジュールになる。
第二中学校前の公園も来年度中にボール遊びができるよう整備予定であり、順次ボールで遊べる広場を整備していく。星田公園は山の上あり、三中校区は場所がない。

テーマ3 星田北7号公園の利用しやすさ改善について

主旨

- 星田北7号公園は、今年整備された非常に広い公園である。ボール遊びもできる公園と書いてあるが、遊んでいる子どもを見たことがない。利用率が非常に低いと思う。中学生に話を聞くと、妙見坂からは遠く、ボールが道に飛び出る可能性もあり危険であると言う。その他に、車の駐車スペースもないため、利用にあたって改善を求めたい。

市長

- 大規模公園以外は、基本的には駐車場はなく、近隣の利用を目的としている。星田北7号公園に関しても、駐車場などは整備されていない。
この公園は市ではなく、星田駅北エリアの土地区画整理組合によって整備したものであり、確かに立地も良いとは言えない。また、物価高騰の影響もあり、遊具設置やフェンスの高さなど、市の希望が叶わず、議会でも指摘は受けているところである。現在、このエリアは星田地区であるが、マンションの建設や戸建て住宅の数も多く、1つの地区として十分に成り立つものと考えている。今後の公園整備に関しては、星田北エリアの自治組織が確立されてから、地域住民の意見に沿った形で整備を図りたいと考えている。

意見

- 星田北は4中校区であるが、校区外に行って遊んではダメと子どもが言うがそれは本當か。

→[市長]学校側はダメと言っている場合が多い。私個人としては、星田北エリアの場合は曖昧な部分もあり、ボール遊びをするために校区内に限るとも言つていられないと思う。

- 星田北7号公園の隣は中北製作所の用地で、工事はまだ先である。市で調整をして、工事までは駐車場スペースとして確保できないか。

→[市長]中北製作所に関しては、工場移転は表明しているが、本社機能の移転はわからぬ状況である。市としては接触を試みるが、大東市との関係もあり、慎重に動いてい る状況である。

- 星田北7号公園に子どもが行くとなると、妙見口からエディオン辺りまで道が狭く、大型車の規制もあるが通行するので危険である。安全確保を願う。

→[市長]市の道路整備の観点から申し上げると、天野川磐船線(フレンドタウン横を通る)整備の優先順位が高く、その目途がついてからの道路整備になると考えている。距離も長く、歩道もなく、部分ごとの整備になる。

- 南星台地区の山のところを整備し、家も建て公園もできると聞くが、そこでボール遊びができる広場のスペースはないのか。

→[市長]市が過去に購入した山があり、土砂災害警戒区域に指定されている山を取り除いて宅地・広場・集会所が整備される。広場の利用に関しては南星台地区と相談し、整備することになるので、まだ決まっていない。スペース的にはかなり広くある。

- 全現堂池の埋め立て地の公園の広さはどれくらいあるか。

→[市長]近隣の方の集まる場所であり、全体の3%程度しかないのでボール遊びなどは難しい公園である。

- 場所などの条件はあると思うが、そもそも、子どもにとって「遊び」とは何かということが議論されていないし、理解されていないと思う。遊びは、ストレス解消や暇つぶしではなく、子どもが社会性を身に付け大人になっていく上で絶対必要なものであるという、その議論がなされていない。場所的には小学校を解放するのが一番良いと思う。できないではなく、子どもの「遊び」の重要性を理解していればできることはある。子どもにとっての「遊び」とは何かを勉強して、理解されてから仰っていただきたい。

- 市と地区が話し合える場(タウンミーティング)は非常に有意義であった。市と地区が協力しながら、今後、次のステップをどのように進めていくかであると思っている。ぜひ、本日の地域の声を、今後の市政に活かしてほしいと思っている。